



居合道だより

第108号



1

はじめに

はじめに

梅雨特有のどんよりした低い空、2，3日おきに降る雨、福岡方言の『しろしかねえ〜』という言葉がつい口に出るこの頃だが、植物たちにとってはまさに恵みの雨、日一日と若葉青葉が瑞々しく成長している。

5月号で紹介したが、拙道場の神柴が水だけでとうとう半年間も生きながらえた。もう葉っぱが半分近くになってしまったが、残った葉は間違いなく生きている。

何と茎の先端にはうっすらと白い毛根さえ生えているように見えた。あらためてその生命力に驚かされる。

同じく5月号で紹介したが、平原遺跡に通じるあぜ道の紫陽花が、小さな幹に精一杯の大輪の花を咲かせた。小さいながらも必死になって根を張っているのだろう。これからの成長が楽しみである。これらを見ていると木には「木の精」が宿っているように思えてならない。

わが県主管の第50回全日本居合道大会の準備も会員の皆様方の努力で、粛々と進行している。各段の正選手も先日監督より発表された。

大会のポスター及びプログラム表紙の原案も出来上がった。福岡県にある日本でのオンリーワン、ナンバーワンの3点セットを主役にした。

志賀の島から出土した金印、沖の島（宗像大社）の金の指輪、そして平原遺跡（糸島市）の内行花文鏡、いずれもわが県が日本に誇る国宝である。

3人の選手をはじめ係員全員がナンバーワンになって欲しいとの願いを込めたつもりである。

先月の県居合道大会では色々ドラマがあったが、観戦していて思ったのは、普段の稽古が一番大事なのは当然だが、その時の選手の心の持ち様、精神状態が大きく出来不出来に影響するということであった。

人間は決して無欲にはなれないし、試合で平常心を保つことなど出来ようはずもない。

だったらそれを承知の上で開き直ることも必要ではないだろうか。

自分を惑わす出来事に動じず、強く心の根を張ろう。

どんな風にも動じず、たじろがず、天空の月のような澄みきった不動心を持て。

『八風吹けども動ぜず、天辺の月』



2

会員の声

福岡武道館居合道初心者教室に参加して

宗像居合道同好会 会員 馬場 雅敦

宗像居合道同好会に入会して約1年を経過致しました。69才で入会致し志は年齢を問わないと言われますが、居合の事は全然無知で同好会の先輩の方の紹介で入会させて頂き先輩の紹介で初心者教室に参加致しました。昨年の10月→2月で終会致しま

したがハカマの着付帯の結び方刀剣の使い方礼儀その他、経験のない事ばかりで先生方の熱意ある指導力を学び心より感謝致しました。

居合は気品気位の重要性が説かれる剣を通じて人間を磨く修行だと思います又茶道花道書道など道のつく伝統文化はうつりゆく日本独身の四季の様に自然の安らぎと美しい心の形成を促し自己を高めさせてくれます。今後も稽古に精進し努力してまいります

関係各位の方へ御礼申し上げます。

有難う御座居ました。

主な出来事

6月6日（土）～7日（日）	居合道講習会	アクション福岡
	全剣連派遣講師 居合道委員	小倉昇先生
6月14日（日）	第48回福岡県居合道大会	福岡武道館
	級審査会 称号予備審査会	
	実行委員会	

7月、8月の予定

7月、8月の予定

7月10日（金）	居合道6～7段審査会	米子市
11日（土）～12日（日）	居合道地区講習会	
8月8日（土）～9日（日）	居合道講習会	福岡武道館
	実行委員会	
	大会リハーサル	

第 1 0 8 号 居合道だより

平成 2 7 年 7 月号



6月6日(土)～7日(日) 於居合道講習会アクション福岡 全剣連派遣講師 居合道委員 小倉昇先生



公益社団法人 福岡県剣道連盟

福岡県剣道連盟 居合道部

第 8 8 号 平成 2 5 年 1 1 月 1 日発行

発 行：福岡県剣道連盟居合道部 URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太 〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847